



大阪府

災害廃棄物の受入れは安全です

— 大阪府では被災地支援のために受入れを行います —

東日本大震災により、被災地では膨大な災害廃棄物が発生し、復興の妨げになっています。

大阪府では、岩手県の要請を受け、大阪市と連携して、宮古地区の災害廃棄物を受入れ、処理することで、被災地の一日も早い復興を支援します。

大阪府が受入れる廃棄物は、放射性物質がほとんど検出されないなど、安全であることを確認しています。



岩手県の廃棄物の仮置場

受入れる廃棄物は、岩手県でしっかりと選別されており、ほとんどが木くずです。



岩手県の選別施設



手作業でも丁寧に選別



選別後（受入れる廃棄物）

船による運搬、焼却、埋立ての各工程で、しっかりと測定し、確認します。



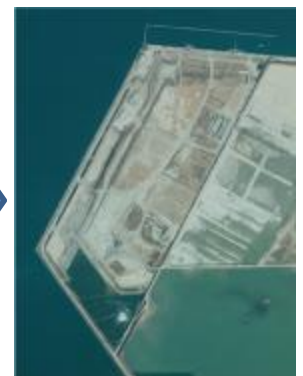
岩手県でのコンテナへの積み込み



大阪へは船で運搬



舞洲工場で焼却



北港処分地で埋立

大阪府が測定した結果は、大阪府ホームページで公表しています。

大阪府 災害廃棄物処理

検索

URL ⇒ http://www.pref.osaka.lg.jp/shi/genjunken/hai_ki_butukouiki_shori/

受入れの安全性について、お答えします

受入れる廃棄物は、放射能の心配はないの？

大阪府が受入れる廃棄物は、放射能の心配はなく、安全に処理できるものです。受入れる廃棄物については、放射能の基準を1kgあたり100ベクレル以下のものに限定しています。

1kgあたり100ベクレル以下という基準は、食べても大丈夫とされる食品の基準と同じで安全なものですが、受入れる廃棄物は、この基準を大きく下回っています。

廃棄物を燃やす日は、外に出ない方がいいの？マスクは？

ご心配はいりません。試験処理を行った結果、焼却工場の排ガスの測定値は、普段のごみを焼却しているときと変わらず、まったく問題のないものでした。

焼却灰を埋め立てても、海が汚れることはないの？

焼却灰の埋立てが原因で、海が汚染されることはありません。焼却灰は、しっかりと管理された処分場（大阪市北港処分地）の陸地の部分に埋め立てるので、海への影響はありません。

アスベストは心配ないの？

受入れる廃棄物は、アスベストの心配はありません。アスベストを含むような建材などは、岩手県でしっかりと取り除いています。岩手県や大阪での測定結果も、まったく問題のないものでした。

お問い合わせ先

大阪府 環境農林水産部 循環型社会推進室 資源循環課 広域処理対策グループ

TEL 06(6941)0351 (内線3831、3832)